

# 新見市自動車騒音常時監視実施計画

令和4年3月

新見市

# 目次

---

1	調査の概要	1
2	自動車騒音常時監視(目的・資料収集・整理)	2
2-1	自動車騒音常時監視の目的	2
2-2	自動車騒音常時監視の実施結果(平成24～令和3年度)	2
3	実施計画の検討	3
3-1	実施計画検討の前提	3
3-2	自動車騒音等の把握の頻度の考え方	3
3-3	ローテーションの考え方	4
3-4	監視対象路線の検討・面的評価区間の検討	4
4	実施計画の検討結果(令和4～8年度)	5

## 1 調査の概要

---

新見市では、騒音規制法第 18 条第 1 項の規定に基づき、平成 24 年度から市内における主要幹線道路を対象として自動車騒音の状況の常時監視を実施している。

この度、当初の実施計画の策定から 10 年、第2期の実施計画から5年が経過したことに伴い、一定の水準が確保され、かつ効率的に常時監視を実施していくため、実施計画の見直しを行うものである。

## 2 自動車騒音常時監視(目的・資料収集・整理)

---

### 2-1 自動車騒音常時監視の目的

「自動車騒音の状況の常時監視」は、自動車騒音対策を計画的かつ総合的に行うために地域の騒音暴露状況を経年的に系統立てて監視することが必要不可欠であるとして、地方自治法第245条の9の規定に基づき、都道府県及び市(特別区を含む)が行う法定受託事務である。

自動車騒音の状況の常時監視により、自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握し、自動車騒音公害防止の基礎資料となるよう、道路を走行する自動車の運行に伴い発生する騒音に対して地域が曝される年間を通じて平均的な状況を把握することを目的としたものである。

### 2-2 自動車騒音常時監視の実施結果

平成 24 年度以降の市内の主要幹線道路を対象とした自動車騒音の常時監視結果は以下に示すとおりである。

環境基準を超過する住居等があった路線は、「中国自動車道」、「一般国道 180 号」、「一般 182 号」、「新見川上線」の4路線であった。

表 1.自動車騒音常時監視の実施結果(平成 24～令和3年度)

評価区間に関する情報											沿道騒音		評価結果								
一連番号	都道府県コード	市区町村コード	評価区間番号	騒音発生強度の把握の方法	評価対象道路①						評価区間の延長 (km)	騒音測定年度	評価区間全体 ①+②								
					(1)路線名	(2)車線数	(3)道路種別	(4)道路構造	(5)遮音壁等の有無	(6)低騒音舗装の有無			(7)センサス番号	評価対象 住居等戸数 a=b+c+d+e	昼間・夜間とも基準値以下 b	昼間のみ基準値以下 c	夜間のみ基準値以下 d	昼間・夜間とも基準値超過 e			
																			年度	市区町村コード	区間番号
1	33	210	2015-210-1	2021	1	中国自動車道	4	1	3	0	1	2015	210	210	9.3	2020	66	66	0	0	0
2	33	210	2015-210-2	2020	2	中国自動車道	4	1	3	1	1	2015	210	210	2	2020	83	80	3	0	0
3	33	210	2015-210-3	2020	2	中国自動車道	4	1	3	0	1	2015	210	210	0.8	2020	49	49	0	0	0
4	33	210	2015-220-1	2020	1	中国自動車道	4	1	1	0	1	2015	210	220	22.6	2020	158	37	121	0	0
5	33	210	2015-10750-1	2017	2	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10750	7	2017	17	13	0	0	4
6	33	210	2015-10760-1	2017	1	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10760	6.2	2017	24	24	0	0	0
7	33	210	2015-10770-1	2021	1	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10770	3.6	2017	99	99	0	0	0
8	33	210	2015-10780-1	2018	1	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10780	1.9	2017	266	263	0	0	3
9	33	210	2015-10780-2	2021	2	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10780	0.5	2017	48	43	0	0	5
10	33	210	2015-10780-4	2017	2	一般国道180号	2	3	3	0	0	2015	210	10780	0.4	2017	22	22	0	0	0
11	33	210	2015-10790-1	2021	2	一般国道180号	2	3	2	1	0	2015	210	10790	0.5	2019	89	89	0	0	0
12	33	210	2015-10790-2	2020	1	一般国道180号	4	3	1	0	0	2015	210	10790	2.4	2019	237	236	1	0	0
13	33	210	2015-10790-3	2020	2	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10790	1.7	2019	49	45	4	0	0
14	33	210	2015-10800-1	2020	1	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10800	9	2019	76	68	8	0	0
15	33	210	2015-10810-1	2019	2	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10810	4.3	2019	18	18	0	0	0
16	33	210	2015-10820-1	2019	1	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10820	6.2	2019	58	58	0	0	0
17	33	210	2015-10830-1	2019	2	一般国道180号	2	3	1	0	0	2015	210	10830	5.2	2019	49	49	0	0	0
18	33	210	2015-10950-1	2020	2	一般国道182号	2	3	1	0	0	2015	210	10950	4.7	2018	31	23	5	3	0
19	33	210	2015-10960-1	2020	1	一般国道182号	2	3	1	0	0	2015	210	10960	3.9	2018	90	82	8	0	0
20	33	210	2015-40120-1	2018	1	新見日南線(南)	2	4	1	0	0	2015	210	40120	3.6	2018	431	431	0	0	0
21	33	210	2015-40130-1	2018	2	新見日南線(北)	2	4	1	0	0	2015	210	40130	5.3	2018	17	17	0	0	0
22	33	210	2015-40140-1	2018	1	新見日南線(北)	2	4	1	0	0	2015	210	40140	9.5	2018	66	66	0	0	0
23	33	210	2015-40540-1	2021	2	新見勝山線	2	4	1	0	0	2015	210	40540	1.2	2021	183	183	0	0	0
24	33	210	2015-40540-2	2021	1	新見勝山線	2	4	1	0	0	2015	210	40540	12.4	2021	208	208	0	0	0
25	33	210	2015-40540-3	2021	2	新見勝山線	2	4	1	0	0	2015	210	40540	1.8	2021	20	20	0	0	0
26	33	210	2015-40600-1	2021	2	新見川上線	2	4	1	0	0	2015	210	40600	3	2021	22	18	0	2	2
27	33	210	2015-40610-1	2021	2	新見川上線	2	4	1	0	0	2015	210	40610	1.2	2021	29	26	0	3	0
28	33	210	2015-40620-1	2021	1	新見川上線	2	4	1	0	0	2015	210	40620	8	2021	122	122	0	0	0
29	33	210	2015-41850-1	2021	1	長屋賀陽線	2	4	1	0	0	2015	210	41850	6.2	2021	33	33	0	0	0

### 3 実施計画の検討

#### 3-1 実施計画検討の前提

令和2年度の道路交通センサスの更新時期であるため、自動車騒音常時監視の実施計画を検討するにあたっては、平成27年度の道路交通センサスに基づくものとする。

#### 3-2 自動車騒音等の把握の頻度の考え方

監視対象路線に対する自動車騒音の状況の把握の頻度については、「自動車騒音常時監視マニュアル」(平成27年10月 環境省)において、以下の考え方が示されている。

表 2.自動車騒音の状況の把握(面的評価)

項目	頻度
沿道状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として5年ごとに更新する。</li> <li>・評価対象道路について、土地利用状況の把握により、相当程度の変化が認められた場合には、速やかに更新するものとする。</li> <li>・特段の事情がある場合においても、10年を超えない期間内に沿道状況の把握を再度行い、情報の更新を行うものとする。</li> </ul>
騒音発生強度の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として5年以内に1回以上、騒音発生強度の把握を行うものとする。</li> <li>・次に示す状況がある場合には、毎年、監視の中で、騒音発生強度の把握を行うものとする。</li> </ul> <p>(1)面的評価の対象となる道路を走行する自動車の交通量及び速度について、相当程度の増減が生じるような道路網の新たな形成、大規模な道路の改良、大規模な都市開発がある場合</p> <p>(2)面的評価を行う地域の範囲又はその周辺において、評価の対象となる住居等の属性の状況について、相当程度の変化が生じるような大規模な都市開発等がある場合</p> <p>(3)面的評価の対象となる道路について、毎年、騒音発生強度を把握することが特に必要な場合</p>
騒音曝露状況の把握	<p>原則として、毎年行うものとする。この場合において、過年度における沿道状況の把握の結果及び騒音発生強度の把握の結果に変化がないと認められる場合は、これらを用いて騒音暴露状況の把握を行ってよいものとする。</p>

### 3-3 ローテーションの考え方

監視対象路線に対する自動車騒音の状況の把握のローテーションの考え方については、「自動車騒音常時監視マニュアル」(平成27年10月 環境省)において、「監視の頻度は、原則として、5年以内でローテーションを組むが、地方公共団体の判断において地域の個別の事情に応じて弾力的に設定する。」とされている。

このことから、同じく令和4～8年度の実施計画においては、これまで同様にローテーションを5年として設定する。

### 3-4 監視対象路線の検討・面的評価区間の検討

市内における主要幹線道路のうち、過年度の評価結果、土地利用状況、道路交通情勢、道路交通等を加味した上で、監視対象路線及び面的評価区間の検討を行った。以下は29年度更新時である。

#### 【平成29年度更新時】

「中国自動車道」においては、(センサス区間番号:220)の区間を追加した。また、(センサス区間番号:200、真庭市・新見市境から大佐SIC)については、区間内に監視対象となる住居等が存在しないことから、除外した。

「一般国道180号」においては、路線の利用状況を考慮し、市内の全線を対象路線とした。

「新見日南線」においては、平成24年度に実施した区間では市役所前の路線を含む1.0kmの区間に限定していたが、平成29～33年度の実施計画では全線を対象路線とした。

「新見勝山線」においては、平成24年度に実施した区間では1.2kmの区間に限定していたが、平成29～33年度の実施計画では全線を対象路線とした。

その他、新見市との協議等により、正田地域の発展による道路の利用状況変化や、車両の流量の変化が見られること、道路交通センサス等から総合的に判断した上で、「一般国道182号」、「新見川上線」、「長屋賀陽線」を新規に監視対象路線に追加した。

#### 【令和3年度更新時】

上記に加え、市境まで含めていない路線

「一般国道182号」及び県道の「新見勝山線」「長屋賀陽線」は、市境まで路線延長する。

これらを鑑み、令和4～8年度の監視対象路線については、表3にまとめた。

#### 4 実施計画の検討結果(令和4～8年度)

以上のことから、令和4～8年度における自動車騒音常時監視の対象路線は以下のとおりとする。

表 3.自動車騒音常時監視の対象路線

路線名	実施年度	評価区間	対象年度	備考	
中国自動車道	2020(R2)	210-1	9.3km	2025(R7)	
		210-2	2.0km		
		210-3	0.8km		
		220-1	22.6km		実測値夜間環境基準超過
一般国道180号	2017(H29)	10750-1	7.0km	2022(R4)	
		10760-1	6.2km		
		10770-1	3.6km		
		10780-1	1.9km		
		10780-2	0.5km		
		10780-4	0.4km		
	2019(H31)	10790-1	0.5km	2024(R6)	
		10790-2	2.4km		
		10790-3	1.7km		
		10800-1	9.0km		
		10810-1	4.3km		
		10820-1	6.2km		
		10830-1	5.2km		
一般国道182号	2018(H30)	10950-1	4.7km	2023(R5)	
		10960-1	3.9km		
	-	10970	9.6km		新設
		-	10980	2.2km	新設
新見日南線	2018(H30)	40120-1	3.6km	2023(R5)	
		40130-1	5.3km		
		40140-1	9.5km		
新見勝山線※	2021(R3)	40540-1	15.1km	2026(R8)	
	-	40550	2.5km		新設
	-	40560	2.4km		新設
新見川上線	2021(R3)	40600-1	2.4km	2026(R8)	
		40610-1	1.2km		
		40620-1	8.0km		
長屋賀陽線	2021(R3)	41850-1	6.7km	2026(R8)	
	-	41860	1.8km		新設
			162.5km		